

§ 2.8 環境研究会の活動

松村 眞（幹事）

1. 環境研究会の活動方針

環境研究会は 2007 年 4 月に発足した。活動方針は下記である。

環境研究会の活動方針

- 名称 : 環境研究会とする。
- 目的 : 環境分野の研究活動を展開し、深めた知識を共有して得られた知見を発信する。
- 構成 : 継続的に研究会に参加し、自ら環境分野の研究を推進する意思のある会員。
- 分野 : 主に大気環境分野、水質環境分野、廃棄物分野、化学物質分野、地球環境分野。
- 活動 : 第 1 段階では、参加者が自主的に関心のあるテーマと自分の見解を紹介し、情報と問題意識の共有化を図る。
- 第 2 段階では、参加者の関心が強い複数の特定テーマを設定し、情報収集と研究の範囲を集中させて知識の深化を図る。
- 第 3 段階では、得られた研究成果をホームページなどで発信するとともに、他の機関の協力を得て外部業務を展開する。外部業務には企画を含む調査業務・執筆・講演などを想定しているが、有償業務だけでなく無償業務も含む。第 4 段階では第 3 段階の定着を図り、研究活動と外部発信を継続して、化学工学会と SCE・Net のステータスの向上に寄与する。
- 運営 : 研究会を継続的・安定的に運営するには、全参加者の公平なキブ・アンド・テイクが必須である。また問題意識と情報の共有化のために、研究会合の討議に参加する必要がある。この原則から下記のルールを採用する。
- ・ 原則として毎月 1 回の研究会会合を開催する。
 - ・ 参加メンバーは調査と資料作成のため、必要な時間を投入する。
 - ・ 参加者は原則として定例研究会に 7 割程度以上出席する。
 - ・ 著作者と著作権保護のため、メール添付ファイルは第 3 者に開示しない。

2. 環境研究会の現状と討議課題

現在の参加メンバーは 7 名で、ほぼ毎月、定例研究会を開催している。発足後の第 1 段階（2007 年 4 月～9 月）は、参加者が自主的に関心のあるテーマと自分の見解を紹介し、情報と問題意識の共有化を図った。第 2 段階（2007 年 10 月～2008 年 3 月）以降は、環境に好ましいライフスタイルを研究対象とすることとし、全員が情報を提供し討議を続けた。現在は第 3 段階（2008 年 4 月～2010 年 3 月）にあり、得られた研究成果をホームページに発信し始めた。第 1 段階、第 2 段階、第 3

段階の討議事項は下記である。

- 第 1 段階 ・化学物質規制、エコプロダクツ、廃プラスチック
- ・容器包装リサイクルの運用状況と課題
 - ・化学物質管理の法規（化管法、化審法、R o H S 指令、他）
 - ・リサイクルの目的と区分・飲料容器の評価
 - ・A社の環境活動（環境報告書・環境マネジメント）
 - ・ブラジルにおけるバイオリサイクル
 - ・千葉の干潟における自然環境
 - ・環境教育（一般市民向け・学会法人会員企業向け）
 - ・フロンガスの特性と脱フロン方策の現状
 - ・プラスチックリサイクルの特許関連情報動向
 - ・ごみ焼却発電の状況
- 第 2 段階 ・環境に好ましいライフスタイルと社会システムのカテゴリー
- ・わが家の物質収支
 - ・廃プラスチックのマテリアルフロー
 - ・消費財のライフサイクルエネルギー
 - ・わが家のエネルギーと水道使用量
 - ・わが家の電力シェイプアップカルテ
 - ・家庭からの二酸化炭素排出量
 - ・わが家の省エネルギー作戦
 - ・化学工学会の環境講座
 - ・カーボンフットプリントの適用性
 - ・環境教育講座の提案
 - ・生活環境とライフスタイル
 - ・エコプロダクツ
 - ・日本の部門別二酸化炭素排出量
- 第 3 段階 ・京都メカニズムによる温室効果ガス削減の三つのメニュー
- ・カーボンオフセット、カーボンフットプリント
 - ・環境ラベル、グリーン電力照明
 - ・ライフスタイルの変革（家電電源コード別売り方式）
 - ・ライフスタイルの変革（太陽熱温水器・ヒートポンプ給湯器）
 - ・ライフスタイルの変革（燃料電池コジェネレーション・床暖房）
 - ・ライフスタイルの変革（炭素税の導入・電柱の地中化）
 - ・ライフスタイルの変革（ごみ空気輸送・郵便と電子メールの住み分け）
 - ・ライフスタイルの変革（オール電化住宅・電磁クッキングヒーター）

- ・ライフスタイルの変革（太陽電池・風力発電）
- ・ライフスタイルの変革（生分解プラスチック・LED 照明）
- ・ライフスタイルの変革（雨水利用・合併浄化槽）
- ・ライフスタイルの変革（CD 媒体書籍、インターネット新聞購読）
- ・ライフスタイルの変革（ライブラリーの未来・読書専用端末）
- ・ライフスタイルの変革（電動自転車・燃料電池パソコン）
- ・21 世紀の水力発電技術

3. 現在の研究会運営方針

- 1) 基本テーマとマイテーマを中心に定例研究会を継続する。
 - ・基本テーマ：2030 年のライフスタイルと社会システム
 - ・マイテーマ：個人の関心があるテーマ
- 2) 基本テーマの討議から有益な結論や示唆が得られたら、1 ページ程度にまとめてホームページに掲載し、外部発信と教育講座資料への展開を試みる。